

加賀野井秀一 Shuichi Kaganoi

わが青春の「現代思想」



リオタール夫妻と加賀野井秀一。右からリオタール夫人、加賀野井秀一、リオタール先生。

私たちの青春時代は「実存主義」に彩られていた。言うまでもなく、そこでもはや...

なもので、サルトルなんて読むために、ゲシュタルト心理学だとか現象学だとかい...

...。そう、本当に不思議なものである。私たちは何をきつかけにしてライフワ...

が、どうしてなかなかこの「ならず者」の中には、ジルドールズ、アンリ・メシ...

東京駅丸の内北口の丸善新宿にはジュンク堂、二〇四年秋の東京は大型書店の出店ラッシュが相次...

愛書狂

愛書狂の続編。東京駅丸の内北口の丸善新宿にはジュンク堂、二〇四年秋の東京は大型書店の出店ラッシュが相次いだ。それぞれが八重洲ブックセンター、紀伊國屋新宿本店に近いことから「東京書店戦争」なんて言葉まで聞かれたほどで、遅ればせながら私も見学してきた。ご存じのようにジュンク堂には平台がよく、ぎゅちり本が詰まったよ...





